

第1回 学校運営協議会 記録

日 時 令和6年6月9日（日） 午後2時45分～4時45分

場 所 浜松湖北高等学校佐久間分校応接室

出席者 委員（敬称略） 佐藤悟、坪井俊介、遠藤睦子

学校 新井淳一校長、佐藤敦副校長、長谷川竜一教頭

【開会】

1 校長挨拶

2 学校運営協議会説明〔事務局〕

3 委員任命及び自己紹介

4 会長及び副会長選出

会 長 佐藤悟 委員

副会長 遠藤睦子 委員

5 議事1 会議成立 委員3人／4人出席

ア 佐久間分校の近況報告

〔事務局説明〕佐久間分校の近況について

《委員質問・意見》

- ・静岡新聞水窪支局が閉じた。取材をしていただける機会は減ってしまうのだろうか。

（事務局）これまでのところ、取材をしていただくことができている。最近では、「野球部の夏の大会単独出場」について大きく取り上げていただいた。

- ・「2年続けて入学者が15人を割ると募集停止」という県の方針について、地元の中学生等の保護者は気にしている。これについて学校はどのように対応するのか。

（事務局）県の方針は変わっていないので、難しい状況であることに変わりはない。今後も、寮の存在も含めて丁寧に中学校に説明をして生徒募集をしていく。

- ・生徒募集については、ただ情報公開しても、中学生の耳には届きにくい。ピンポイントでニーズのある生徒に伝えることが必要。

- ・生徒募集については、生徒が希望するのと同時に、保護者の理解を得ることが重要。早い段階から寮のことなどを周知したらどうか。「自然の中で学びたい」という生徒もいる。新たに「自然」について学ぶ授業を入れて差別化してはどうか？

- ・地元以外から本校に魅力を感じた生徒が来てくれるようにすることが大切。

（事務局）遠方から入学する生徒は、寮に入ることが前提。入学には、生徒自身に佐久間で学びたいという強い気持ちがあることとともに、保護者の理解・協力が必須と考えている。

- ・様々な生徒の対応をする学校は指導が大変。

- ・豊かな環境で丁寧に育ててくれる本校を、どうやって中学生や保護者に知ってもらえるかが大きな課題。

- イ 学校経営計画「目指す学校像」の承認
〔事務局説明〕学校経営計画「目指す学校像」について
《委員承認手続き》⇒ 承認

6 文化祭見学（合唱発表・エンディング）

7 議事2

ア 意見交換

- ・距離や時間を考えると予備校に通うのは難しい地域である。学校が進路指導を丁寧に行っていることが進路実績に繋がっていると思う。
- ・昼食を提供してくれる食堂があればもっとよい。
- ・今の多くの受験生は学校、塾の課題でオーバーワーク。学校の勉強をしっかりとやっていれば伸びる子は伸びる。本校のように丁寧に面倒を見てくれるのは理想。
- ・文化祭での様子を見ると、学校生活や学校行事がとても大切だとわかる。

【閉会】